

JMS CAPD接続チューブ

再使用禁止

【警告】

- 各接続部を汚染させないこと。[腹膜炎を発症する可能性がある。]

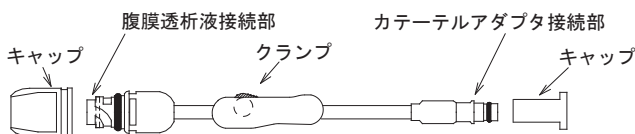
【禁忌・禁止】

- 再使用禁止

**【形状・構造及び原理等】

<構成>

腹膜透析液接続部、クランプ、カテーテルアダプタ接続部からなり、付属品としてロックスパナを添付する。



【使用目的、効能又は効果】

本品は、連続携帯式腹膜灌流(CAPD)に用いられる。

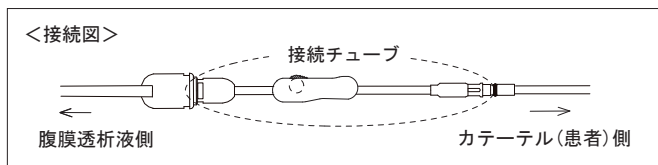
接続チューブは、透析液の交換時に使用され、透析液を腹腔から排液し、新しい透析液を腹腔へ注液するための腹膜灌流注排用チューブである。ロックスパナは接続チューブを交換する際に、必要に応じて使用する補助具である。ルアーロック接続コネクタは、CAPD療法中に、接続チューブ及び腹膜灌流留置カテーテル内がフィブリン等でつまり、透析液交換が出来なくなった場合など、必要に応じて接続チューブの腹膜灌流回路側先端に接続し、シリンジ等を使用して内部を洗浄するなどの目的に使用するコネクタである。

**【品目仕様等】

気密性(耐圧)

内圧20kPaを10秒間負荷するとき、空気のもれがない。**

**【操作方法又は使用方法等】



接続チューブを交換する際は、交換キット又は交換セット、10%ポビドンヨード水溶液、腹膜透析液、PDキャップキットSを用いて以下の手順に従って交換します。

1. 準備

- (1) 手洗いをし、マスクを着用します。
- (2) シーツを患者の下腹部の上に敷きます。その際、シーツのカット部がカテーテルの出口部に合うように敷きます。
- (3) 十分に手洗いをし、手袋を着用します。
- (4) ガーゼに10%ポビドンヨード水溶液を含ませます。(以下、消毒用ガーゼ)

2. 接続している接続チューブの取外し

- (1) カテーテルと接続チューブの接続部を中心に、カテーテル(患者)側、接続チューブ側それぞれ10cm程度、消毒用ガーゼで消毒します。
- (2) 消毒用ガーゼで、カテーテルアダプタ接続部を消毒します。
- (3) カテーテルをクランプし、カテーテルアダプタから接続チューブを取外します。
- (4) カテーテルアダプタを消毒します。
- (5) 手袋を外します。

3. 新しい接続チューブの接続

- (1) 再度、十分に手洗いをし、新しい手袋を着用します。
- (2) 新しい接続チューブのクランプを閉じます。
- (3) 消毒済みのカテーテルアダプタと新しい接続チューブをしっかりと接続し、ロックスパナで更にしっかりと締めます。
- (4) カテーテルのクランプを取外します。
- (5) 腹膜透析液接続部にシリンジを挿入し、透析液流路を確実に開通します。*

4. 腹膜透析液の排液及び注液

- (1) 接続チューブと腹膜透析液を接続後、腹膜透析液、接続チューブの順にクランプを開放して、排液を開始します。
- (2) 排液及びプライミング終了後、注液を開始します。
- (3) 注液終了後、接続チューブのクランプを閉じ、腹膜透析液のクランプを閉じます。
- (4) 接続チューブから腹膜透析液を取外し、PDキャップキットSの保護キャップを装着します。

【使用方法に関連する使用上の注意】

- カテーテルをクランプする際は、カテーテルアダプタから3~4cm離れた位置にクランプを装着し、閉塞すること。[カテーテルアダプタに近い位置でクランプすると、カテーテルが破損する可能性がある。]
- 腹膜透析液と接続する際は、接続チューブの腹膜透析液接続部を下方に向け接続すること。
- 手技ごとに新しい消毒用ガーゼを使用すること。

【使用上の注意】

1. 重要な基本的注意

- 併用する医薬品及び医療機器の添付文書を確認後、使用すること。
- 専用の腹膜透析液及び保護キャップ以外は使用しないこと。
- 腹膜透析液交換を行わない間は、保護キャップを接続チューブから外さないこと。
- 腹膜透析液交換終了後、接続チューブの腹膜透析液接続部に保護キャップを必ず装着し、交換ごとに新しい保護キャップを使用すること。
- 接続チューブの交換は、腹腔内に腹膜透析液が入っているときに、医師又は医療従事者のみが行うこと。
- 本品を使用する際は、必ず手洗いをし、清潔な環境下で無菌的な操作を行うこと。
- 使用する際、接続チューブ内の通液を確認すること。通液しない場合は、新しい製品と交換すること。

- チューブの接続部を曲げたり、チューブを過度に引っ張ったり、押し込むような負荷がかからないようにすること。〔接続部の外れ及び液漏れ、チューブの破損等が生じる可能性がある。〕*
- 使用中は本品の破損、接続部の緩み及び液漏れ等について、定期的に確認すること。
- 使用中、接続チューブの接続部に緩みや液漏れ等が生じた場合は、新しい製品に交換すること。
- 使用中、チューブを傷つけないように注意すること。〔液漏れが生じる可能性がある。〕
- 本品を交換する際は、カテーテルを引っ張らないよう注意すること。
- 本品の接続部にアルコールを含む消毒剤を使用する場合は注意すること。〔接続部にひび割れが生じる可能性がある。〕
- ひび割れが確認された場合は、ただちに新しい製品と交換すること。*
- 包装を開封したらすぐに使用すること。
- 開封時は接続部の外れや緩みがないことを確認後、使用すること。*
- 包装が破損、汚損している場合、及び製品に破損、変形等の異常が認められる場合、キャップが脱落している場合には使用しないこと。

2. その他の注意

- コネクタの先端部には直接手を触れないこと。*
- 使用後は感染防止に配慮して安全な方法で処分すること。

**【貯蔵・保管方法及び使用期間等】

1. 貯蔵・保管方法

- 水ぬれに注意し、高温、多湿、直射日光を避けて保管すること。

2. 使用期間

- 6ヶ月以内〔自己認証（当社データ）により設定〕**

3. 使用期限

- 箱の使用期限欄を参照すること。〔自己認証（当社データ）により設定〕

【包装】

1本／箱

*【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称及び住所等】

製造販売元及び製造元*

株式会社ジェイ・エム・エス

広島市中区加古町12番17号

郵便番号：730-8652

電話番号：082-243-5806